



第 17 号

岩江中だより

発行日：令和4年 2月14日

文責：三春町立岩江中学校長

電話：0247-62-8290

FAX：0247-62-8380

Email：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営のテーマ 『変えてはならないものを守るために、変えるべきものを変え続ける』

いただいたご意見を大切に、教育活動の充実につなげます。

学校運営協議会委員・保護者・生徒・教職員の皆さんから学校経営について貴重なご意見をいただきました。これからの学校経営に反映させ教育活動を一層充実させることにより、子どもたちの成長につなげてまいります。なお、個別にいただいたご意見についても、十分に吟味し教育活動に反映させてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

## 令和3年度 学校評価アンケートから

| 中項目            | 小項目        | 小項目<br>評価 | 中項目<br>評価 | 評価結果の考察                                                                                                                                                                                                                                                            | 課題改善に向けて                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------|------------|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育課程           | ①教育目標の設定   | 4         | 4         | ○コロナ禍における、様々な教育活動の制限や感染対策の長期化の影響もあってか、学校生活への意欲や前向きさを維持・向上させていくことが課題として見えはじめています。今後も生徒・保護者・教職員の思いや願いをつなぎながら、様々な工夫により教育活動を継続させるとともに、一人ひとりの不安や悩みに向き合いながら支援を続けていく必要があります。<br>○授業改善、集団への所属感の高揚等、学びの場での賞賛を通して、一人ひとりに自分の良さを実感させ、生き生きとした学校生活へとつなげていきたいと考えます。               | ○安全安心な学校生活の確保を第一に、合理的な感染症対策を継続するとともに、内容・方法の工夫により計画されている教育活動の完全実施に努めることで、生徒の生き生きとした学びを保障します。<br>○教育課程編成においては、コロナ禍における学校・生徒の実態を踏まえ、教育活動の精選・整理を進め、教職員がじっくりと落ち着いて生徒に向き合えるようにします。特に授業力の向上と特別活動の工夫により、生徒も教職員も楽しいと思える学校生活を維持します。          |
|                | ②教育課程の編成   | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 教科指導           | ①個に応じた指導   | 3         | 3         | ○生徒の回答では、「授業は楽しい」「教え方を工夫している」「成果を適切に評価している」の各項目で8～9割以上の肯定的な評価を得ている一方で、「質問しやすい」への肯定的な評価が5割にとどまっています。授業中の個別指導や、授業以外での一人ひとりへの支援を強化する必要があります。<br>○小学校の学習内容が定着せず、中学校の難しい学習内容に苦戦している生徒もあり、まずは学習意欲を持続させることが何よりも大切です。いかに学びの楽しさやわかる喜びを味わえるようにするかが課題です。                      | ○基礎的な学力や学習習慣、学ぶ楽しさや「やればできる自信」を持たせるために、学習コンテストやドリル学習による支援を継続します。<br>○学習の悩みを気軽に相談できる機会や体制を整えるとともに、教科相談・自主学習タイムの在り方を見直し、より効果がある取組にします。<br>○全ての生徒に充実感のある授業を提供するために「課題設定の工夫」「生徒を見とる力を伸ばす研修の充実」などの課題解決に向けチームとして取り組みます。                   |
|                | ②評価        | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 道徳教育           | ①道徳の時間     | 4         | 4         | ○全校ボランティア、福祉体験などの体験的な活動を内容等を工夫し実施することができました。次年度も実施方法を探り、心の教育の充実に結びつけたいと考えます。<br>○道徳の教科化への対応を含め、授業を核とした道徳教育という点では、今後も教職員の意識を高める研修が必要です。<br>○「自立」の教育目標にふさわしい、自らが「気づき、考え、行動する」視点から、規範意識を醸成することが大切です。                                                                  | ○道徳教育推進教師を中心に、多様な授業形態や多くの教職員が関わる道徳教育の在り方などについて、研修の充実と改善に努めます。<br>○学級の課題を自治的に解決する力の育成と、議論できる集団作りの観点から研修を積み実践します。<br>○授業参観時に道徳の授業を公開し、家庭とともに心の教育の充実を図れるようにします。                                                                       |
|                | ②体験を通じた道徳  | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ③社会規範の育成   | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 特別活動           | ①魅力ある学校行事  | 4         | 4         | ○「正しい恐れ方」を念頭にコロナ対策を合理的に行い、できる活動は工夫して行うことができ、生徒は前向きに学校行事に取り組むことができました。それぞれの行事のねらいを明確にし更に充実した活動をめざします。<br>○行事等における生徒の活躍の場の設定とリーダーの育成、さらには自立に向けての支援のあり方等について、教職員間で十分に共通理解を図り実践する必要がある。<br>○進路や生き方の指導について、他の項目に比べると低い評価でした。生徒が将来社会に出てから必要となる様々な力を、教育活動全体で育てていくことが大切です。 | ○生徒の主体的な活動と活躍の場を設定し、多くの成功体験に結びつくような行事を計画するためにも、行事の目的や教職員の役割分担など綿密に計画し、子どもの成長の視点でとらえなおします。<br>○コロナ禍における行事の精選を継続させ、膨れ上がった教育課程を多忙化解消の視点で精選し、総合的に行事のスリム化を進めます。<br>○キャリア教育の視点から、すべての教育活動において生徒に身に付けさせる資質・能力を明確にし、指導の内容や方法を共有し実践します。     |
|                | ②主体的活動     | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ③進路指導      | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 生徒指導           | ①組織的な生徒指導  | 4         | 4         | ○週1回の生徒指導委員会の実施により、組織としての方針や対応をその都度確認し、共通理解を図りながら個別の事案に対応することができ、肯定的な評価が上昇しています。<br>○スクールカウンセラーや外部の専門機関との幅広い連携と、これらを踏まえた保護者との協働を継続し、個々に応じた多様な対応を進めることができている。<br>○スマホ、インターネット、SNS等については、講演会をはじめ、学年懇談会や他の集会等でも話題として取り上げ、指導に力を入れてきました。                                | ○教育目標の「自立」を踏まえた指導・支援の在り方について、教職員の共通理解はもちろん、保護者とも連携し進めていきます。生徒に対しては年度初めにガイダンスを行い、岩江中の良さの自覚につなげていきます。<br>○今後も相談しやすい環境づくりを推進します。新入生に対する教育相談をゴールデンウィーク明けに計画し、悩みの早期発見と対応に努めます。<br>○SNSの使用については地域全体の課題と捉え、家庭はもとより、幼稚園・小学校とも連携して取組を強化します。 |
|                | ②教育相談・生徒理解 | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ③安全指導      | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ④基本的生活習慣   | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 組織運営<br>情報管理   | ①学校経営目標・方針 | 4         | 4         | ○学校だよりやホームページなどで積極的に情報を発信したことにより、学校経営について理解を得ることができたと同時に、学校の教育活動への安心感にもつながり、9割以上の肯定的な評価を得ることができました。<br>○校務の連携については、生徒・保護者からは好評価を得ていますが、教職員の評価がやや低く、教員定数の減少により、教員一人ひとりが担当する業務が多くなり、コロナ対策や教育活動のICT化などの新たな取組も重なり負担感が増えています。                                           | ○教職員の多忙化解消については多面的なアプローチが必要です。人員の配置については町教育委員会に支援をいただき、校内の努力事項としては、校務分掌の適材適所化、負担の均等化を図り、教職員の能力が十分に発揮できる環境をつくることに力を入れます。<br>○GIGAスクール構想、校務のデジタル化が進む中で更なるセキュリティ対策の強化、教職員・生徒のリテラシーの向上を図る取組を進めます。                                      |
|                | ②校務分掌等の連携  | 3         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ③個人情報保護・管理 | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 保護者・地域<br>との連携 | ①学校情報の発信   | 4         | 3         | ○コロナ禍にあっても学校運営協議会が計画的に機能しており、連携・協働が難しい状況ではありますがつながりが保たれています。一方でPTA活動は制限を余儀なくられ、前年度より数値は上昇しましたが少し低い評価となりました。<br>○ホームページや学校だよりでのタイムリーな情報発信により、保護者、地域との連携や信頼関係構築に効果が上がっていると考えられます。                                                                                    | ○コロナ禍ではありますが、コミュニティスクールの機能を最大限に発揮し、開かれた学校、開かれた教育課程の実現のためにも、地域の教育力・人材活用など、積極的な取組を更に進めます。<br>○「やれる方法を模索する」という方針で進めていただいPTA活動を次年度も継続し、教育活動の充実のために協力をお願いしてまいります。                                                                       |
|                | ②学校(授業)公開  | 4         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                | ③家庭・地域との連携 | 3         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 施設・設備          | ①施設・設備の利用  | 4         | 4         | ○自校予算内での計画的な営繕・修理と、必要に応じて町教委に依頼し改善を進めています。<br>○清掃活動への取組を強化し、日々の清掃状況が良くなりました。奉仕活動にも積極的に取り組む生徒が多いので、自分たちの環境は自分たちでよりよくなるという意識づけを大切にしています。                                                                                                                             | ○優先事項を吟味し営繕要望を町教委に伝え、計画的な環境改善に努めます。また、ICT機器の導入が急速に進んだ中、適切に活用できるよう管理し、効果的な運用に努めます。<br>○環境整備のために随時ボランティアを募り、自分たちの手で環境を整えるという態度を一層育んでいきます。                                                                                            |
|                | ②教育環境の整備   | 3         |           |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                    |

※項目の評価については、生徒、保護者、教師のアンケート結果から判定し評価しています。

(4：達成されている 3：ほぼ達成されている 2：あまり達成されていない 1：達成されていない)

※肯定的意見が概ね80%以上を「4」、60%以上80%未満を「3」、40%以上60%未満を「2」、40%未満を「1」としています。